

# はんどいんど

連の会

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に  
憩うという。離婚—それは旅の半  
ばの一つの出来事。新たな旅立ち  
をした女たちはいま手をとりあい、  
女であるがゆえの偏見と差別に向  
きあう。ハンド・イン・ハンドは  
生きやすい社会をめざし、支えあ  
う女たちの流木である。



飛べ  
跳べ  
うしろ  
うしろ

No.202

## 【あきらめますか。闘いますか】

■陽が昇り、そして陽が落ちて。ディテールの部分では随分違うように思うのに、誰にも等しく1日1日が来て、そして毎年365日が駆け足で過ぎ去ります。

■年の初めに良いニュースをお届けしたかったのですが、与党3党と政府は財政難の折、母子家庭が受けている児童扶養手当の予算削減を決めました。

離婚後5年間だけ支給をするという抜本的削減は平成15年度からのようですが、年収130万円から1万円上がる毎に年2,000円ずつ削減する案は今年8月から実施したいようで、その改悪案はこの1月21日から始まる通常国会で可決されそうです。

月々15万円で子ども2人の3人家族が食べていくのは厳しい限り。この場合、180万円の年収となり、改悪案では年に10万円が削減されるわけです。

■ハンド・イン・ハンドの会は他のグループと共に反対運動を起こすべく、賛同者を募り、衆参議長への請願や要望書の署名活動を繰り広げると同時に、私は、民主党内に「ひとり親家庭等自立支援ワーキング・チーム」を立ち上げ、座長として、反対の方向に党内をまとめるつもりです。

養育費をスムーズに父親から払わせるシステムの確立や、女性の就労意欲を阻む雇用環境の改善、生活の基礎となる住宅の確保等々、まず行政が支援すべきことを後回しにして、予算がないから削減というのでは、知恵も情もありません。

■皆さん、声を上げて下さい。この不況で失業したり、2つも3つも仕事を掛け持ちしても生活は火の車という人が少なからず。そんな中で疲れ果て、時間もエネルギーもないかもしれない。でも黙っているのは政治は変わりません。あきらめていては「痛みを受けるのは弱い者だけ」になってしまいます。

■皆さん、住んでいる町の議会や地元の国会議員に訴えて下さい。新聞にも投書しましょう。インターネットで窮状を訴えましょう。あきらめず、闘うこと。そうしなければ離婚女性の生活は変わりません。

(円より子)

**44%の父親は別れても子どもと行き来をしています。  
会っていると養育費の支払い率も高い。子どもにと  
っては経済面、物理面、精神面の全てからサポート  
してもらえることが大事です。 円より子**

201号では養育費と面接交渉についてのアンケートの中間報告をしました。今回、全てのアンケート(266件)を精査したところ、さらに意義ある結果が出てきました。このような調査は他に例がなく、養育費や再婚、父と母の収入なども、面接交渉に関連の大きいことが立証されました。

■266件中の有効回答は262件。内、女性記入者は244件、男性記入者は18件

244件中、母親が全児を引き取ったのは194件。その内、面接交渉有りは107件(55.15%)で、現在も面接をしているケースは85件(43.81%)、以前は会っていたが今はないのが22件(11.34%)、全く会っていないケースが87件(44.85%)でした。

男性記入者18件中、12件(66.7%)は母親が引き取り、父親(つまり本人)が引き取ったのは5件(27.8%)、双方で分けたケースは1件(5.6%)でした。面接の有無では、父と子の行き来は12件中3件(25.5%)、母と子の行き来は5件中2件(40.0%)、養育費の取り決めは17件(94.4%)と高く、「約束通りある」11件(61.1%)、「約束はないが支払いあり」1件(5.6%)、「成人し期限が終わった」1件(5.6%)を合わせると、72.3%の高率で、それは年収500万円以上が10件(55.6%)と、女性記入のアン

ケートでわかっている父親の離婚時の年収500万円以上、41.6%をかなり上回っているからでしょうか。今回のアンケートで男性は18件(6.9%)と1割にもなりません。母親と同じ数だけの父親が離婚後の子どもの問題について悩んでいるはずで、男性への協力の呼びかけと調査項目を再考しなければと思っていました。それにしても、男性記入のアンケートは切ないケースが多かった(囲み記事をお読み下さい)。

■面接交渉107件、55%はすごい。しかし現在進行形は85件(44%)。再婚した父は会わなくなる？

18年前の調査では、父と子の行き来は29%でしたから、107件(55%)という数字はすごい伸びです。しかし、今現在、進行中となると85件(44%)ですが、それでも増えてきました。以前は会っていたのに今は会わなくなった22件はどういう理由があるのでしょうか。この22件中、10ケースの父親が既に再婚しています(恋人との同居含む)。これは45.5%の高率で、これが面接交渉がなくなった一因になっています。もちろん、父親が再婚しても、子どもが産まれても、別れて暮らす子どもと会っているケースもありますが、アンケートの文面からは「次第に疎遠になり、連絡も来なくなった」とか「今の妻からクレームが出たらしい」などの事情が伺えます。

再婚していなくても、「所在がわからない」「連絡してこない」など、中には病気の子が「お父さんに会いたい」とせがむので連絡しても、入院先に来てくれなかったなど、子どもの気持ちを思うと切なくなるケースもありました。

現在進行形85件中では、父親の再婚は19件(22.4%)で、母の再婚は4件(4.7%)。やはり、どちらも再婚していない方が(特に父親が)面接交渉は続いています。本来、「遠方だから」とか、「再婚したから」という理由で子どもとの行き来が途絶えるものではないと思うのですが。

■夫が全児を引き取ったケースの離婚原因は「夫の暴力」、「親きょうだいの折り合いの悪さ」、「妻の仕事

#### ★面接交渉のトラブルは？

母親が子どもを引き取った194件中85件に面接交渉があり、その内44件で面接交渉のトラブルを訴えています。トラブルの内容は、「日程を決める時、別れた父親が自分の都合を押しつけてくる」14件(31.8%)、「離婚後も元夫から頻繁に連絡があったり、会ったりするのが苦痛」10件(22.7%)、「自分(母親)の親兄弟が、子どもと父親の行き来に反対している」4件(9.1%)というお互いや家族の感情のもつれや、「子どもに物を買わせたり過ぎたり、甘やかすので躾や教育上困る」6件(13.6%)、「父親が日程を守らなかったり、当日キャンセルしたりする」5件(11.4%)といったマナー違反も。

## への無理解」が際立つ

このケースは別れた妻側が書いたものですから、夫が子どもを引き取ったケースに「暴力」が多いなどと言うつもりはありません。父親が子どもを引き取るケースが増えてもいいと思っていますので、誤解を与えないように分析しなければなりません。ただ、夫の暴力に苦しみ、また夫の親と同居していて、子どもを置いて出ざるをえなかった妻たちの姿も依然としてあるということです。

ただ離婚理由と別に、職業、収入で見ると、また違った側面があります。離婚時に正社員(42%)、公務員(33%)だった父親が大半で、年収も500万円以上が50%と多い(全体では42%)のです。

父親が引き取った子と母との面接はどうなっているでしょう。取り決めに関しては12件中8件(66.7%)で、実際にも同件数が行き来をしています。しかし、夫がしっかりと養育費は請求するのに息子との面会を邪魔するケースがあったり、黙って会っている子どもが父親を気にしているなど、行き来もそうスムーズとばかりはいかないようです。

母と子の行き来のないケースでは、「子どもの精神状態が落ち着くまで会わないでくれ」と言われたケースや、「父親が亡くなり、祖父母に育てられていて会えない」等の事情もありました。

### ■子どもを分けたケースは6件で、子ども2人が4件、子ども3人が2件

子どもを分けた場合子ども同士の交流のためにも行き来をする確率は高いようです。2件が行き来無し。4件が行き来有り(67%)。行き来が無い理由はアンケートからだけではよくわかりません。子どもを分ける時、裁判になったり、奪い合いになることも多く、そうした経緯を経て「会えない」となると、事情を書くのも辛いのかかもしれないと、勝手な推測をしています。

### ■別れた子と父の行き来は、母と父の離婚時の職業・年収に関係があるようだ

面接交渉有りの85件中、母親が離婚時に有職だったか無職だったかを見ると、有職53件(62.4%)、無職30件(35.3%)となっています。それが面接無しでは、有職が37件(42.5%)とぐっと減り、無職が50件(57.5%)と増えるのです。年収で見ても面接有りの方が高い。これは母親に経済的基盤のある方が、「父と子の面接」に対して寛大になれるし、自分の生活や感情と子どもの権利を分けて考えられるということが言えるのではないのでしょうか。

父の離婚時の年収を見ると、面接有りでは85件中9件(10.6%)が年収500万円以下、35件(41.2%)が500万円

### ★男性が記入したアンケート(18件)

母親が子どもを引き取った13件の内、8件が子の引き取りをめぐる調停や裁判まで行ったが引き取れなかったケースで、その内7件が面接無し。養育費は支払っているし面接権も決めたのに会うことを拒否されているのが7件中4件も。13件中1件は別居中で、子に会いたくて出向くと警察沙汰にされてしまう。後の2件は元妻の再婚で会わせてもらえなくなっている。面接が続いているのは、結局3件(23.1%)のみ。

父親が全児を引き取った4件では、2件が既に子どもは成人または10代後半で、母と自然に行き来をし、2件は子が幼いけれどどちらも全く母からの連絡無し。子を父母で分けた1ケースでは、子どもに会いたい母親の意向で全く面接できず。「日本の親権や面接権のあり方、法と制度のあり方が母親重視に偏りすぎ」という父親たちの声にも、耳を傾けなければなりません。

以上で、面接無しの23件(26.4%)と29件(33.3%)と比較すると年収の高いことがわかります。

面接有りの方が養育費の取り決めが76件(89.4%)で、無しは65件(74.7%)であり、その額も面接有りの平均は子ども一人につき48,904円、面接無しが38,722円ということ考えると、年収の比較的高い父親が別れて暮らす子どもと会い、養育費も支払っていると言えます。中には、「養育費を払うから会わせろ」と交換条件になるケースもあるようですが、とにかく子どもにとっては、別れた親が経済的にも、物理的にも、精神的にも自分のことを考え支えてくれると思えるような関係性を持続してもらえことは重要で、面接交渉の成否は、別れた夫婦がどうそれを運用するかにかかっているとも言えます。

別れてまで子どものことでもめたくない、関わりたくないという気持ちも正直よくわかりますが、「面接交渉を通して、子どものお陰で成長させてもらえました」という人もいます。

そんな形の面接交渉ができるといいですね。262通のアンケートの多くはびっしりと書き込みがあり、調停調書等のコピーまで添付して下ざる人もいて、この調査に寄せる熱意、ひいては、子どもへの離婚の影響を小さくしたいという思いがひしひしと伝わってきて、頭が下がりました。インタビュー等もして、さらに充実した調査結果をいずれご報告します。とりあえず、本当にご協力ありがとうございました。

# 児童扶養手当が削減されてしまう!? 反対するための請願署名にご協力下さい!

— 2001年11月22日 (木) 厚生労働省のヒアリングより —

児童扶養手当は、現在約70万母子世帯が受給し、子ども一人の場合、月額全額支給で42,370円（非課税世帯）、一部支給で28,350円が支給されています。しかし、厚生労働省は、来年度から「子どものしあわせを第一に考えた総合的な母子家庭等の自立支援策」を行うと発表。子育て支援や就労支援、養育費確保などをする代わりに、児童扶養手当を見直し、支給期間を5年間に短縮すると同時に、年収130万円から年収が1万円上がるごとに手当を年2,000円減額し、非課税世帯からも減額措置を行うとしています。

長引く不況により、ますます生活が厳しい母子家庭にとって児童扶養手当は命綱です。この「母子家庭等の自立支援策」は子どもをより困窮化させ生活保護受給世帯を増やす結果になりかねません。

## 厚生労働省のヒアリングで母子家庭の窮状を訴えた

円より子からも窮状を説明しましたが、事情もわからず削減されては困るので「ハンド・イン・ハンドの会」等から、母子家庭の実情についてヒアリングをすべきであるとの申し出をし、東京近郊の会員から、苦しい実情を厚生労働省の担当者に訴える場を設けました。

厚生労働省より雇用均等・児童家庭局母子家庭等自立支援調査官蒲原基道氏、同局家庭福祉課母子係長鈴木宏幸氏が、ハンドからは6名が出席。まず、厚生労働省から母子家庭等自立支援策についての考え方や児童扶養手当制度の見直しについて説明を受けた後、ハンド会員がそれぞれ、生活の実情を話しました。

**Kさん（東京）** 夫は婚姻中も生活費を入れない人で、養育費は当てにできず、児童扶養手当を当てに離婚したが、離婚の前年子どもが扶養家族に入っていなかったの、離婚後1年間手当が出ず、子どもを3人抱え、大変だった。1年後に都営住宅が当たり、手当ももらえるようになり、本当に助かった。

**Mさん（埼玉）** 離婚後15年ずっと大変だった。離婚時仕事をしていないので、母子家庭では不動産屋に門前払いで住居を借りられず、実家の4畳半に子ども2人と戻った。心の支えだった父が5年前亡くなり、

▶ 厚生労働省ヒアリング風景



現在、中3と高2で教育費もかかるが、契約社員で、パートと掛け持ちしても月収15万円。結婚前の貯金や相続を切り崩している状況。児童扶養手当は少なくとも現行の高校卒業まで支給してほしい。息子の問題行動も見られるようになり、私に全ての負担が掛かるようになり、精神的にも疲労がピークに。24時間いつでも相談できる電話相談を設置して欲しい。

**Iさん（神奈川）** 養育費は当てにならず、生活する度に赤字が増える。追い出された形で別居した時も転貸資金を借りて引越。借金の返済が滞り、就職の際の信用調査で落とされたことも。就職は年齢的に難しいし、専業主婦で働いた経験や資格がない。資格を取ろうにも学費もない。パートと児童扶養手当と親戚の援助で何とかやっているが、展望が見えない。都営住宅に入りたいが都内に住んでいないので無理。

**Hさん（東京）** 離婚して11年、会社を3回変わった。会社が倒産、経営不振で1番初めにリストラされるのは女性。仕事を変える度に労働条件が悪くなる。昨年11月にリストラされ、今年6月ようやく就職したが、年収が100万円下がった。都営住宅に入れたから何とか生きていける。離婚直後、病気がちの息子を抱え、ヘルパー派遣サービスが機能せず、本当に困った。安心して子どもを預け働ける制度の拡充を。精神科にも2年通った。

**Yさん（東京）** 離婚して10年は元夫から養育費支払いがあったが、数年前途絶え、養育費減額の調停を申し立ててきた。元夫は自営で経営不振で収入がない

と調停で取り決めてもない人からは取れないと言われてしまう。サラリーマンと違い、自営からは取れない。養育費を支払う父親には税金の控除があるといい。

### ハンド・イン・ハンドの会からの要望

その後、養育費を母子寡婦福祉法に明記して、母親から父親に養育費を取り立てるようにしても実効性はない。また、養育費を義務化しても暴力のあるケースなどネックになる。児童扶養手当にかかる予算が母子家庭等支援策全体の予算の96%を占めると言うが、①就労支援②子育て支援③住宅支援④養育費や別居中の生活費等の支払い履行確保制度の整備が担保できれば、自然と予算額は減ってくるのだから、支援策の成果が上がってから、児童扶養手当の見直しを行うべき。福祉事務所、母子相談員の研修の強化等要請しました。

### 厚生労働省の最大の目的は児童扶養手当の削減！

自民党は昨年10月、党の厚生労働部会内に「母子寡婦問題等小委員会」を設置。12月6日の小委員会では、今後の母子家庭等対策の推進にあたって、基本的方針について議論、決定されました。

自民党や厚生労働省の母子家庭等自立支援策の最大の目的は、児童扶養手当の削減に他なりません。

支援策を講じながら、手当を見直すとヒアリングの際には言っていましたが、12月6日の小委員会の基本的方針では、今年の8月から児童扶養手当の支給事務が都道府県から市等に移譲されることに併せて、児童

扶養手当額と所得の関係の見直しを実施するとしています。

しかし、就労支援などの施策は、平成15年度からの全面実施を目指す、本末転倒しています。

厚生労働省は、小委員会の要請を受けて今後の母子家庭等対策の改革大綱を作成することになりますが、その案は2月中旬の小委員会に提示され、そこで議論され、3月上旬には改革大綱と法律案として閣議決定され、国会提出されることになっているのです。

ハンドの会としても、他の当事者団体と共同で請願署名活動、集会、シンポジウムを行う等、運動していきます。皆様のご意見、ご協力をお願いします。

### ★請願署名にご協力下さい！

厚生労働省の児童扶養手当抑制案を撤回するため、ひとり親家庭の当事者団体「ハンド・イン・ハンドの会」と「しんぐるまざあず・ふぉーらむ」、「母子家庭共和国」共同で、要望書を厚生労働大臣を初め国会議員に、請願書を衆参議院議長に提出する等、運動することにしました。

別紙の請願書は表裏で衆参議長用になっています。両院に提出しますので、両面をそれぞれコピーし、同じ人から2枚に署名を頂いて下さい。ぜひ友人、知人に呼びかけて請願署名を表記事務所までお送り下さい。1月18日(金)必着でお願いします。

厚生省との会合に参加してくれたハンド会員の生活ぶりをご紹介します。児童扶養手当が削減されたら、どの支出を削ることになるのでしょうか。

神奈川・Iさん (49歳) (子ども2人) 家計簿内訳 (2000年4月分)	
〔収入〕	
パート代(手取り)	150,000円
児童扶養手当	47,370円
養育費	100,000円
計	297,370円
〔支出〕	
家賃	70,000円
電話代(携帯)	11,000円
水道・光熱費	15,000円
学費(子どもの小遣い含)	20,000円
家具	20,000円
衣服となべのローン	50,000円
食費	70,000円
交際費・雑費	41,370円
計	297,370円

東京・Aさん (52歳) (子ども1人) 家計簿内訳 (2001年11月分)	
〔収入〕	
アルバイト代	15,000円
養育費	50,000円
貸付金(元夫の会社から)	50,000円
児童扶養・育成手当	55,870円
叔母からの援助	10,000円
計	180,870円
〔支出〕	
家賃	65,140円
駐車場	5,000円
食費	40,000円
光熱費	7,500円
電話代(携帯込)	10,000円
ガソリン・交通費	9,000円
通学定期代	13,000円
共済保険料	2,000円
子ども習い事	16,000円
PTA会費・旅行積立等	11,400円
雑費	1,830円
計	180,870円

神奈川・Kさん (49歳) (子ども2人) 家計簿内訳 (1999年9月分)	
〔収入〕	
給与(手取り)	150,000円
児童扶養手当	47,370円
兄弟からの援助(家賃分)	120,000円
計	317,370円
〔支出〕	
家賃	120,000円
食費	65,000円
水道光熱費	25,000円
保険料	3,600円
新聞代	3,720円
教育費	6,701円
塾	17,850円
習い事	11,235円
小遣い(子ども)	3,000円
小遣い(私)	15,000円
雑費	20,000円
計	291,106円
※残高は衣服・交際費・娯楽費等に使います。	



## 東海地区で初めての 離婚セミナー開催!!

ハンド愛知世話係・

昨年12月16日(日)13:30~16:30、あらたまクリニック(名古屋市瑞穂区)のセミナールームにて、名古屋で初めての「離婚セミナー」を開きました。

各紙に掲載されたこともあり、30代から60代までの女性26名、男性1名の計27名の参加で、盛会の内に終わりました。東京より、円より子さんが講師として参加して頂くことができて、非常に心強か



ったです。

この地域では、「離婚」というイメージはどうしてもマイナスとなり、世間に顔向けできないという人もいます。離婚講座に行きたいなら、東京か大阪へ行くしかないというのが通例。調停への呼び出しなんて犯罪者になったと思う人達が未だにいる地域です。

その中で、いつの日か離婚講座を開きたい、いえ開かなければならないと強く思うようになっていたところに、たくさんの協力者が現れて、自然な成り行きで実施できたので、「機が熟した」のだと思っています。

離婚に際して、財産分与を初め、法律的なことを知りたい。別居中の生活費はどのように申し立てればいいのか。健康保険はどうなるのか。離婚後に夫の年金はもらえるのか等々、切実な質問が続出。

セミナー終了後も、離婚後に集まれるグループはないか、次回は参加したい、裁判中だが弁護士を変えたいので紹介してもらえないかという連絡がありました。

主催のWITHのメンバーは、皆



自分の仕事を持ちながらの活動なので、今回も時間捻出には苦労しましたが、実施した甲斐は十分あったと思っています。

今後、活動していく上で、名古屋で良心的な離婚に詳しい弁護士とのネットワークが持てたらと思います。

また、児童扶養手当が削減されようとしています。愛知県では、母子家庭に対して行っている県立高校の授業料の免除のカットを、今春から実施したようです。国や地方の母子家庭に対する支援策がどんどん悪化しています。ハンドで対策を考え、働きかけていきたいと思っています。

### 弁護士110番

**Q** 夫が浮気をし、その女性の信仰する宗教を始めたのに、私と子どもが信仰しないという理由で、自分とは生きていく道が違うと言いました。亭主関白で、私には働くなど言っていたのに、「家でフラフラ遊んでいるやつにお金を払いたくない」と私と子どもを追い出し、「お前にお金を渡すくらいなら会社を辞める」と脅しにかかってきました。

年金や保険の問題で絶対に離婚に応じたくありません。どうしたらいいでしょうか。

**A** 夫が離婚を求める理由は、夫側の事情であり、あなたには離婚原因があるわけではないので、現時点では、もし夫が離婚を求めて裁判をしたとしても認められないでしょう。

しかし、裁判所は、婚姻の破綻に

ついてもしっかり責任のある配偶者からの離婚について、①夫婦の別居が年齢及び同居期間に比し相当の長期間に及び、②その間に未成年の子がいない場合、③妻が離婚により精神的、社会的、経済的に極めて過酷な状態に置かれる等正義に反する特段の事情がない限り、有責配偶者からの請求であるからということだけで、離婚請求が許されないとは言えないとしています。

ですから、現在の状態では、時間が経過し、子どもが成人した頃に離婚が認められてしまうという可能性もあります。

1つの方向としては、家裁で夫と浮気相手との関係の解消を求め、夫婦間の円満な婚姻関係を求めるため、円満調整の調停をするということが考えられます。この場合、家裁が、関係者の社会生活への適応性を回復させるために、経済面や精神面、心理面などでの生活環境を調整する

活動を行ったり、適切な指導や助言を行ってくれます。

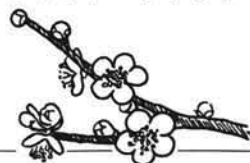
またあわせて、同居を求める調停をすることも考えられます。夫婦同居の申立については、審判も求めることができます。

しかし、夫婦が円満な婚姻関係の回復に非協力的で、あくまで離婚に固執している場合は、現在の裁判所の考え方では、既に述べたように、いつかは離婚が認められる可能性があります。

ですから、仕事に就くことなども考えた方がいいのではないのでしょうか。働くことによって、自分の年金が確保できますし、また自分名義の保険に入れば、その方が将来的には安心かもしれません。

弁護士 松山理香

☎06-6311-1789



## 〈お世話係〉

★仙台  
★福島  
★東京  
★埼玉  
.....  
★群馬  
★静岡  
★愛知  
★大阪  
★大阪  
★岡山  
★広島  
★香川  
★四国  
★福岡  
★新潟  
.....  
★熊本  
★大分  
★宮崎



第149・150回  
大阪のニコニコ離婚講座

〔1月〕1月19日(土)午後1時半～4時半、ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)中会議室で。松山理香弁護士による「離婚に関する法律の話」。

参加費1500円。

竹川幸子法律事務所

☎06-6393-1331

〔2月〕大阪ニコニコ離婚講座150回記念シンポジウムを開催。詳細は囲み案内をご覧ください。

## 各地の会合

## ★東京の会合

▼1月26日(土)午後5時半～8時、麹町の円より子宅で。

▼3月2日(土)午後5時半～8時半、麹町の円より子宅で。

事務局橋本、向井へお問い合わせを。

E-mail: mukai@kazoku-mondai.co.jp

FAX03-3261-1836

☎03-3261-1835

## ★大阪の会合

1月26日(土)午後1時半～4時半、

竹川幸子法律事務所(☎06-6393-1331)で。

## ▼ハンド大阪のバザーのお知らせ

3月9日(土)、ドーンセンターにて恒例のバザーを行います。物品(衣類は新品同様のみの)の提供、当日のお手伝い等、ご協力お願いします。物品の送付は、宛で。

## ★愛知の会合

▼1月20日(日)12時～午後3時、新年会を開きたいと思います。場所未定。お問い合わせ、お申し込みは世話係 までご連絡下さい。

## ▼「WITH 離婚・再婚心の相談室」

離婚、再婚を実際に経験したカウンセラーがあなた自身の抱える問題を解決に向かって援助します。医療、法律面の各専門家との連携があり、必要に応じてご紹介できます。有料。要予約。離婚を経験したひとり親家庭との交流会もあります。

▼相談日程:毎月第2、4日曜日午前10時～午後5時▼予約受付:平日午後1時～7時、WITH担当...まで。

## ★ハンド香川の会合のお知らせ

1月は都合でお休みします。次回は3月の予定です。日程、場所は参加者の都合で決めますので、世話係までお問い合わせ下さい。



## ★ハンド大分の忘年会のお知らせ

12月2日(日)午前11時～15時に別府のホテルで忘年会を開きました。出席者は世話係の と家裁の調査官の遠藤さんの3人でした。たくさん食べて、ゆっくりとお話できました。家裁の裏話も聞け、皆が遠藤さんのような調査官だったら、世の中も変わっていたかも知れません。露天風呂にも浸かって、帰路に就きました。

次回会合は1月27日(日)と2月24日(日)午後1時～、 子宅で開きます。世話係 まで、ご連絡下さい。



## ★ハンド埼玉の世話係に立候補

会報で何度かネットワークを呼び

かけていた です。今まで世話係をなさっていた児玉さんからのお話があり、埼玉の世話係に立候補します。何が出来るかわかりませんが、何かを生み出せる場所を作りたいと思います。

昨年末に会社を変わり、引越をし、新たに生きるための選択です。別居、離婚も人生の選択の1つです。同じ体験をした仲間だからこそわかることがあります。1月か2月に集まりたいと思いますので、アクセスして下さい。宜しくお願いします。

つなげよう  
はんだの輪

TEL:03-3261-1835

FAX:03-3261-1836

e-mail:mukai@kazoku-mondai.co.jp

ホームページ:

http://www.kazoku-mondai.co.jp/

離婚の法律、手続きのこと、子育てや生活のこと、何でもお寄せ下さい。

## ■子どもたちのために頑張ります

M・N(東京・47歳)

3年間の別居の末、ようやく離婚届を出しました。21歳の息子と16歳の娘を抱え、相手からの仕送りは一銭もなく、結婚してから貯めていたお金もそろそろ底をつきそうなので、月曜から金曜と土日のパートを掛け持ちしています。47歳なので、今の戦場のまま定年まで働くしかないかななんて考えてしまいます。

別居後は泣いてばかりいて、息子に「妹の前では泣かないでほしい」と言われながらも涙が溢れるばかり…。最近少し気持ちも落ち着きましたが、職場や近所の人にも夫は単身赴任だと言っています。

## ☆離婚110番

日時、番号をよく確認して下さい。

【電話番号】☎03(3261)1835

☎03(3261)1836

【日時】第1、第3、第5土曜日16:00～20:00

第2、第4土曜日13:00～17:00

今は心の支えがほしい毎日です。女友達とは違う男の人の考えを聞きたい時があります。息子は父親のいない現実をひしひしと感じているようです。娘の彼氏の親には、片親ということで蔑まれていることもあるし…。この3年間で、本当に疲れました。経済的不安が重くのしかかってきています。でも子どものために頑張らなければ…と思っています。※周囲に話せる友人がいらないようです。ひとりは本当に辛いもの。励ましのお手紙待ってます。

#### ■10年振りに自分の部屋を確保

Y・I (埼玉・40歳)

ハンドの会員になって10年以上経ちました。2年前から脳梗塞で倒れた父と母との4人家族。中学になって個室を欲しがると、父の介護に1部屋必要という時に、同じマンションしかも同じ階に4DKが売りに出たので、買ってしまいました。かなりきついですが、父用にリフォームもでき、1人1部屋確保できていざこざが減った気がします。

貯金はなくなってしまったけれど、女は度胸、思い切って良かったです。何より10年振りに自分の部屋ができたのが嬉しいです。贅沢と言われるかもしれませんが、親子と言えども自分だけの空間は必要です。※家族関係に空間は本当に大切です。ひとり親家族への住宅支援を政府に働きかけていきます。

#### ■仙台の会合に参加して

K・S (岩手・7歳)

仙台の「ひとり親家庭大集合!」に参加。もっともっと話をしたかったと思わされた時間でした。連絡先を交換したので、再度集まって励まし合ったり、話を聞き合ったりするだけでも何か「力」になれる部分があるのではと思いました。

世界ではテロの話ばかりですが、

#### コラム・「今年こそ愛ある世界に」 (愛知・45歳)

「女性は愛情を注ぎ続けることに生きがいを感じるものである」と、ある映画のセリフで聞いた時、ハッと気がついたのです。

子育てが半分終わって無力になっていた自分が、このところ誰かに何かをしてあげられることに幸せを感じ元気になるのです。

それまでは、「女性は愛情を受けて美しくなる」と思い込んでい

たらしく、姿も性格までもがブスになるのは必然という状態が続いていたのです。

愛情を受けるだけではなく、その人に愛情を注ぎ込めることに感謝しつつ、見返りを期待するのではない行動は、まるで乳飲み児を育てていた頃と同じ感情なのではないかと思ってしまう。

世の中は今、稚子さまに愛子さまがお生まれになり、祝賀ムードいっぱい。今年は「愛」があふれる世界にしたいものですね。

#### ★大阪ニコニコ離婚講座150回記念シンポジウム開催!

この2月で大阪のニコニコ離婚講座が150回を迎えます。これをを記念して、ドーンセンター等との共催で、「夫婦関係と児童虐待」をテーマに、シンポジウムを開催します。ぜひハンド会員でない方も誘ってご参加下さい。また、シンポジウム終了後、懇親会も行いますので、併せてご参加下さい。

▼日程：2月23日(土)13:30～16:30

13:30～ 開会の挨拶 渡部梢さん(ハンド大阪世話係)

13:50～ 基調講演「夫婦関係と児童虐待」

円より子(現代家族問題研究所代表)

15:00～ パネルディスカッション

講師 津崎哲郎氏(大阪中央児童相談所・部長)

毛利多恵子氏(助産婦)

竹川幸子氏(弁護士)

コーディネーター 円より子(現代家族問題研究所代表)

16:00～ 質疑応答

16:20～ 閉会の挨拶 円より子(現代家族問題研究所代表)

▼会場：ドーンセンター・パフォーマンススペース(大阪府立女性総合センター) 大阪市中央区大手前1-3-49 TEL:06-6910-8500

▼参加費：2,000円

▼定員：100名

▼申込：申込はシンポジウム、懇親会共、住所、氏名、メールアドレス、電話番号を記入の上、ハンド事務局(橋本、向井)までFAXまたは郵送下さい。

今、自分の生活を考えあぐねている方も大勢いることを忘れないでいることも大切だと、改めて気づかされた1日でした。

※岩手から駆けつけて下さったSさん。呼びかけて会合を開いて下さいね。

#### お便り・お電話下さい

※匿名の方には表記事務所円より子宛にお送り下さい。転送します。

#### ■鹿児島近隣の方ご連絡下さい

K・M (鹿児島・39歳)

夫の不貞が原因で現在離婚調停中です。6歳の息子と2人暮らしです。

鹿児島には世話係がいらないので会合もなく、情報が得られません。公的機関以外で、生の声が聞けたり、交流できる場所が欲しいと思います。鹿児島の方、近県のかた、ご連絡お待ちしております。

※各地の世話係を募集しています。

#### ■年金相談のホームページを開設!

(福岡・46歳)

この度「女性のための年金相談室」というホームページを開設しました。

今の年金制度は、離婚した女性には不利ですね。離婚と年金についてのQ&Aやシングルマザーを応援するページも作りました。ぜひ、ご覧下さい。メールによる無料相談室もありますので、ご利用下さい。

#### メールアドレスリストを作成します!

「円より子が講演で地方に行くので会合を開きましょう」など、急な連絡にはEメールが大変便利です。手紙や電話を下される時は、個人用のメールアドレスお知らせ下さいね。

#### ★購読料について

期限切れの通知の入った時に、お振りこみ下さい。

次の3通りの方法があります。

①1年間3600円(送料共)

②2年間まとめて前払いの場合、7200円を6000円に。

③出社払いもしくは免除

どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください。

(振込先)各地の郵便局にて

00140-6-120542

ハンド・イン・ハンドの会